

恋をしたら いてもたってもいられない



ケネス・ブラナー

ロバート・ジョン・レナード

エマ・トンプソン

マイケル・キートン

キアヌ・リーヴス

デンゼル・ワシントン

ケネス・ブラナー作品

から騒ぎ

ウィリアム・シェイクスピア原作



MUCH ADO
ABOUT NOTHING

サムエル・ゴールドウィン提供/共同提供:アメリカン・プレイハウス・シアトリカル・フィルムズ/ルネッサンス・フィルムズ・プロダクション=ケネス・ブラナー作品 ケネス・ブラナー/マイケル・キートン/ロバート・ジョン・レナード/キアヌ・リーヴス/エマ・トンプソン/デンゼル・ワシントン

ウィリアム・シェイクスピア原作(から騒ぎ)新瀬文庫刊/白水社刊/脚色:ケネス・ブラナー/衣裳:フィリス・トルトン/美術:ティム・ハーヴィ/編集:アンドリュー・マーカス/撮影:ロジャー・ランサー/音楽:バトリック・ドイル(サントラ盤:EPICソニー・レコード)

製作:スティーヴン・エバンス&デヴィッド・パーフィット&ケネス・ブラナー/監督:ケネス・ブラナー 提供:関西テレビ放送/アスミック/セテラ 配給:セテラ/アスミック 協力:電通

THE SAMUEL GOLDWIN COMPANY

THE SAMUEL GOLDWIN COMPANY
ALL RIGHTS RESERVED



MUCH ADO ABOUT NOTHING



アメリカ、イギリス、フランスをはじめ世界中が感動して興奮した愛の映画、いよいよ日本登場!!

今年のカンヌ国際映画祭で上映が終わるや観客が総立ちで拍手を贈り、世界中の映画ファンが「早く観たい!」と熱望した「から騒ぎ」。その熱波はアメリカを襲い大ヒットを記録。その後もフランス、イギリスと世界中を熱く燃え上がらせて、いよいよ日本に「から騒ぎ」が登場する。

天才児ケネス・ブラナーの新たな挑戦

初の監督作品「ヘンリー五世」で世界をうならせて、いきなりアカデミー賞3部門にノミネートされたケネス・ブラナー。次なるシェイクスピア映画化作品は「から騒ぎ」。なぜ、今この時代に「から騒ぎ」なのか? ブラナーの答えは簡単。“突き上げるような情熱的な愛を高らかに描いている”からだ。彼の考えたとおり、映画は世界の若者たちに熱狂的に迎え入れられ大ヒット。「から騒ぎ」は現代に生きる我々のためのラブ・ストーリーなのである。

恋の予感の楽しさに満ちあふれた全編

舞台はイタリア、トスカナ地方の美しい町メシーナ。戦を勝利で飾ったアラゴンの大公ドン・ペドロの一行がやって来る。レオナート知事の邸は大騒ぎ。知事の美しい娘ヒーロー、美しいが勝ち気なために並みの男には振り向かない姪のベアトリスも歓迎する。ドン・ペドロの一行は異母弟のドン・ジョン、独身主義を貫くベネディック、若くハンサムな伯爵クローディオたち。ベネディックとベアトリス、クローディオとヒーロー、二組のカップルを中心に展開される恋のゆくえの結末は?

ケネス・ブラナー
マイケル・キートン
ロバート・ショーン・レナード
キアヌ・リーヴス
エマ・トンブソン
デンゼル・ワシントン

ケネス・ブラナー監督作品

から騒ぎ

ウィリアム・シェイクスピア原作

ブラナーのもとに集まった超豪華キャスト

この映画のもうひとつの魅力は豪華キャスト。人々に慕われるアラゴンの大公ドン・ペドロに「マルコムX」のデンゼル・ワシントン。会えばすぐ口喧嘩をはじめめるベネディックとベアトリスにはケネス・ブラナーと「ハワーズ・エンド」でアカデミー主演女優賞を獲得したエマ・トンブソン。ドン・ペドロを嫉み畏を画策するドン・ジョンに「ドラキュラ」のキアヌ・リーヴス。おかしな警保官ドグベリーに「バットマン」のマイケル・キートン。若き伯爵クローディオに「いまを生きる」のロバート・ショーン・レナード。いまもっとも輝いているスターたちのエネルギーがまぶしく、シェイクスピアが見事に現代に甦った。



12月25(土)よお正月
日りのロードショー

特別鑑賞券(一般)1400円(税込)好評発売中

銀座線京橋駅下車・2番出口上る
銀座テアトル西友

新宿東口・伊勢丹新館となり
テアトル新宿

ベイブリッジ至近 MYCAL本牧5番街
シネページ本牧

日・祝のみ10:00 12:15 2:30 4:45 7:00

日・祝のみ10:00 12:15 2:30 4:45 7:00

11:40 1:45 3:50 5:55 8:00

*銀座、新宿共に、12/31は4:45の回で終了、1/1は12:15の回から上映致しますので、御座承下さい。

*1/17以降は、11:40の回は金・土・日・祝のみ上映致します。(1/1は休館)